

馬込川水系 河川審議会の意見への対応方針

■平成23年度第1回河川審議会での意見

河川整備基本方針：流域の現状・課題
掃流用水：掃流用水の現状

分類	No	意見
治水	1	既往の被害状況を見ると、本川が悪いのではなく、支川の断面不足により浸水被害があらこちらで起きていると思われる。本川を改修しなくとも、流下能力不足の支川を的確に整備すれば流域は安全と言えるのではないのか。
	2	現在10.85m ³ /sの掃流用水を引き込み、河口閉塞等もなく水位など全体としてバランスがとれている。これに対して、改修計画で例えば本川を改修し、川幅を拡幅することにより水位が下がれば、バランスが崩れることになりかねない。その場合10.85m ³ /sでは不足するためより多くの水を引き込んだ方がよいという議論になっていくのか。
	3	遠州灘の海岸侵食が進んでいるとの意見があったが、流量を含め、馬込川の河口のあり方を研究している高校生がいる。興味があれば参考にしていただきたい。
環境	4	馬込川の河口域の干潟には珍しい生物があり、県の中でも多様な生物が見られる場所として、馬込川の河口域は高い評価がある。計画の策定や掃流用水の議論においては、そうした点にも着目していただきたい。
	5	この地域は淡水貝の種類が豊富でインガイ類が多いが、都市河川として整備される過程で、ヤリタナゴとヤリタナゴの母貝となるマツカサガイという貝が残念ながら失われた。こうした失われた生物や自然を復元するような河川計画を検討していただければと思う。
	6	馬込川には掃流用水による豊かな水量により自然豊かな動植物がいる。芳川については自流であるため、生息している動植物の調査結果があれば教えていただき、比較してみたい。その結果により掃流用水の価値というものが分かると思う。
	7	芳川については視察時に「ああ汚いな」と思うほどであったので、1回ぐらいは基本的なデータとして生物調査を実施すべきではなかったかと思う。
利用 利水	8	現在は掃流用水の権利は農水省が持っているわけであるが、この水利権を河川管理者側が欲しい、ということか。平成22年11月18日の通知の意図について伺いたい。
	9	現状で具体的に何か問題が生じているのか。あるいは今後、問題が生じるという可能性があるのか。
	10	掃流用水が河川管理行為ということになり河川維持用水という扱いになってしまうと、濁水調整の対象外となり、他の農業水利にしわ寄せが生じる、という大きな問題をはらんでいるが、これについてはどのように考えているのか。農業水利権でなくなることで、浜松市も意見が言えなくなる。
	11	数年前に太田川ダムを考える時に、この掃流用水を上水に転用できれば浜松市及びその周辺地区の住民の生活用水はそれで賄えるのではないかと、という議論があった。ただし、農業水利という既得権益のために実現はしなかった。
	12	海岸侵食が進み砂浜が少なくなっている状況の中で、河口閉塞防止の観点からこれだけの流量を流す必要があるのかどうか。掃流用水必要量はこれまでより少なくないのでは。
	13	馬込川は典型的な都市河川であるが、都市河川としてのデザインを考える上で、掃流用水としての流量は河口閉塞対策以外の役割も果たしているのではないかとと思われる。

■平成24年度第1回河川審議会での意見

掃流用水：河川環境の現況

分類	No	意見
環境	1	下流域の環境を考える場合には、下水処理場のインパクトはものすごく大きいですが、馬込川では下水処理水の流入箇所とその量を把握しているのか。
	2	総合的に河川環境の改善を考える上で、農業用水の管理者・河川管理者・下水道管理者による水管理の一体的な現状評価が必要である。
	3	10.85m ³ /sが導水されている馬込川と、導水されていない芳川を比較することで掃流量があったほうが好ましい環境が維持できるという証明にならないのかと思うが、芳川も調査するという観点はないか。
	4	減水による影響検討における他の着眼点として、長期的な視点に立った河川環境の変化とあるが、今後、時間軸を考慮した長期的な視点というのは、実際に減水を行い観察するという意味合いの考えか。歴史的経緯もかなり大切なことであると思うが、これをどのように考えているのか。
	5	従来どおり農業用水の掃流用水として位置づけるのか、河川管理者が河川維持用水として位置づけるのか、関係者で話し合い、折り合ってもらい必要がある。
	6	「流水の清潔の保持」からみた必要流量について、茄子橋で0.64m ³ /s、白羽橋で1.35m ³ /sとなる意味を教えてください。
利用 利水	7	天竜川からの導水量に季節変化はあるのか。また、濁水時にどういった流量の変動があるのか。
	8	松江流量というのが導水量と考えて良いか。導水量のデータはどこにあるのか。また表やグラフにすることができるか。
	9	現状の導水量がどういった方針で流されているかが明らかでない、将来どういった管理をしたらいいのかという判断をするための材料が不足することになる。ぜひ示していただけたら良い。
	10	冬期に流量を減らしている歴史はいつから始まっているのか。これが20年続いているのか、30年続いているかによって、今後の流量の管理を考えるときの大きなポイントになると思う。
	11	その際に、天竜川からの取水量がどのように管理されて、この結果になっているかが大事な情報になる。
	12	天竜川が濁水になったら掃流用水もコントロールされるのか、されないのか。その事実がどこかに資料として示されていれば良い。
	13	馬込川においては、天竜川の河川管理者とも協議が必要になる。取水を行う農業用水の管理者には一体的に議論に参画していただくため、河川の基本方針を立てる段階でも来ていただけたら良い。
	14	水の豊かな川が町の中にあることは、浜松市にとっても大きな財産になっている。浜松市がこの川をどのように市街地の中の景観、または潤いとして位置づけるのかということも、この河川整備の中で重要である。浜松市の意向があるのであれば協力もいただき、その意向を考慮する必要もある。浜松市とどのような連携をして、この計画をつくれるのか。
	15	この川を市街地の中に活かすと、浜松市の河川部門だけでなく都市計画部門や企画部門とも連携をとり、静岡県としては、浜松市に寄与できる河川整備を行いたいという意思表示をしていただきたい。
	16	地域がこの水をどう考えているかは非常に大きいと思う。市長の役割は、農業用水の管理者としての市長と、市民生活を育て守っていく市長の立場があるので、市当局が馬込川の水を自分達の町の財産としてどう位置づけるのか真剣に考えなければいけない。市民生活に潤いを与えているこの水をどう評価し、どう流すかという観点で浜松市と協議を行った上で、意見をまとめることが非常に大切である。

■平成25年度第2回河川審議会での意見

河川整備基本方針：治水計画

分類	No	意見
治水	1	馬込川は、市街地の中を流れる川で、日頃接しているのは、市役所である。最終的に、この洪水処理計画が完成するまでの間、浜松市が頑張るという計画にしておかないと、地域の人たちのためにならないと思う。
	2	環境への配慮として、水質を改善していくことも非常に大事ではあるが、現状の河道で生息できていない生き物がたくさん居るのには間違いない。河川整備基本方針としては、現状維持の発想ではなく、自然再生、若しくは良好な自然を創出するという発想で、河道計画なり、水質改善計画等としていただきたい。
環境	3	馬込川の場合、河口部の環境が非常にポイントとなる。河口閉塞等を防ぐためには、現在の形状が良いということであるが、それ以上を考えないということではなく、海との連携性をむしろ高める対策(土砂の出入りする可能性のある程度踏まえた河道)にしていったほうが良いのではないのか。
	4	この市街地の中を流れている川としての景観や市民との交流、災害時における安全について、市の役割を計画の中に入れたほうが良いと思う。新しい計画として、少し位置づけてはどうだろうと思う。
利用 利水	5	掃流用水あつての環境、生態系、河口状況となっているが、これをどう基本方針に位置づけるのか。河川管理者として、掃流用水をどう見るのか。記述の仕方次第では、違う議論を生みかねない。河川管理者として掃流用水をどう評価するかということが問われている。他部局との調整も必要であり、しっかり議論してほしい。

これまでの審議会における意見のまとめ

【治水】

- ①近年は、流域内の平坦な地形特性、支川の排水不良により、主に内水被害が発生しており、支川の整備も必要である。
- ②現在、掃流用水や導流堤の効果により、河口閉塞等もなく全体としてバランスがとれている状態であるが、基本方針に位置づける河川整備により河川断面を拡大することで、このバランスが崩れることはないか。
- ③都市河川である馬込川流域では、静岡県とともに地域に一番近い存在である浜松市も治水対策に積極的に関わらなければならない。

【環境】

- ④河口部の干潟などの自然環境が特徴的であり、基本方針策定にあたり配慮していただきたい。
- ⑤掃流用水とともに、長い年月をかけて現在の河川環境が育まれてきたが、その一方で、都市河川として整備される中で失われた環境もあるため、河川環境に関する各調査を行い、各河川が有する良好な河川環境の再生・保全・創出に努めることが必要である。
- ⑥河川環境を考える上では、下水道整備の状況把握も重要である。

【利用・利水】

- ⑦浜松市が、馬込川を市街地の中の景観、または潤いとしてどのように位置づけるのかということも重要である。浜松市の意向があるのであれば、その意向を考慮する必要もある。
- ⑧浜松市の河川部門だけでなく都市計画部門や企画部門とも連携をとり、馬込川を市街地を流れる河川として活かせるような河川整備を検討していただきたい。